

# 成田っ子通信

## ～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R 3.7.7 No.5  
文責 新井麻起

今回は、前回の「成田っ子通信」N0.4で紹介した、校内の授業（「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践：6年：社会）をもとに、「主体的・対話的で深い学び」に迫る手立て（ICTの活用・思考ツール・発問の工夫・学び合いの工夫・振り返り）は有効であったか。その手立てによって本時のねらいに迫っていたか、協議している様子です。

授業者：T 教諭 司会：M 教諭

### 【授業者反省】

授業者反省の後、「主体的」「対話的」「深い学び」それぞれが感じられる児童の様子を付箋に書き、Yチャートを使い、出た意見を整理していく。



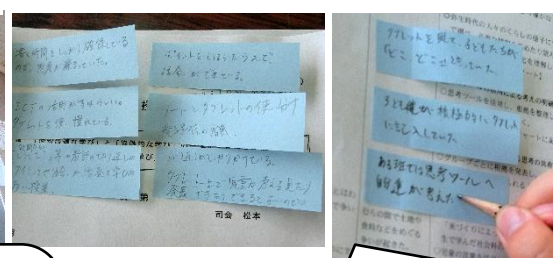
○導入には時間をかけずに、話し合う時間を十分にとるようにした。○タブレットは印をつけるような単純な活動にした。

### 【研修の流れの説明】



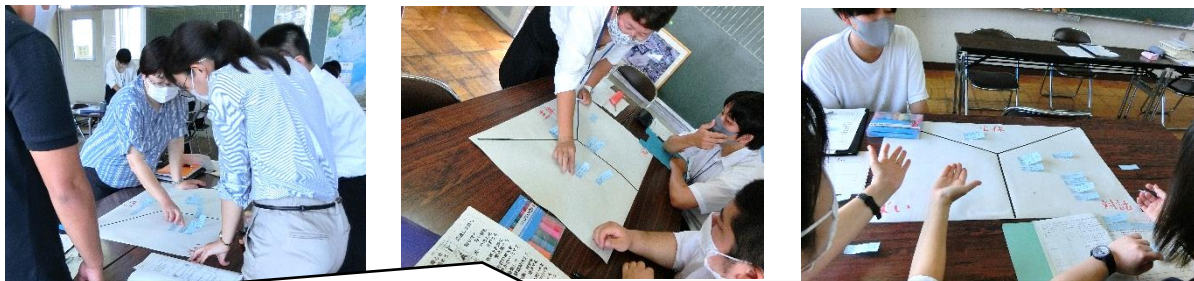
始めに「主体的」「対話的」「深い学び」の視点に迫る手立てやその効果を付箋に書きだし、その後、Yチャートに出された意見を整理し、実現したい児童のどのような姿に結びついたかをまとめる。

### 【3つの視点に迫る手立てや効果をに書く】



○意外性のある課題におのずと主体的に活動し始めた。○タブレットのメタモジを使い、班内だけで情報を共有できるのが良い。○見つけた資料から話し合いが深まっていた。クラゲチャートが考えを替えるために有効だった。

### 【班内での3つの視点に迫る手立てや効果のまとめ】



○根拠となるものを写真から見つけだし、「なんのためにそれがあるのか？」の発問により、対話が活発に行われていた。○タブレットに書き込んだ一人ひとりの画面をすぐに大型モニタに出し、共有できるのが良い。

### 【各班の発表】



○意外性のある課題から、児童はすぐに授業に引き込まれた。課題提示が重要。○タブレットの作業を単純にしたので、だれでもできる操作で、しかも班内での情報共有という使い方があり、話し合いがしやすかった。クラゲチャートも考えを整理するために有効であった。タブレットに個人個人で書き込んだ内容の評価をどうするかが今後の課題である。

### 【教師の振り返り】

○メタモジに挑戦してみたい。  
○自分も単元を通した「主体的・対話的で深い学び」をやってみよう。  
○タブレットを積極的に使いたい。  
○日頃から、こうした授業を継続して行わなければならない。